「第2回世界水まつり」に参加
リンの音色を阿蘇から世界へ！

2023年11月11日、熊本県南阿蘇にある野外劇場アスペクタで「第2回世界水まつり」が開催されました。晴天に恵まれた野外ステージに、和真音とシンギング・リンの仲間37名が出演。その様子を事務局の臼井がレポートします。

アナ雪チームとソーラン節チームで全員集合!

水の結晶が取り持ってくれた阿蘇とのご縁

世界水まつりは、書籍『水は答えを知っている』の著者である江本 勝先生のご子息・江本博正さんを筆頭に、昨年から始まったイベントです。

２００５年にシンギング・リンを聴いた水の結晶写真を江本先生に撮影していただいたご縁から、今回のオファーをいただきました。

この日のために、約2カ月半の時間をかけ、参加者の皆さんとオンラインを中心とした打合せや練習を重ねました。

今回は認定者から中級講座修了生までのリン奏者が集まりました。全国から年齢も経験も異なるバラエティ豊かな参加者が集まったため、全員が揃ったのは本番前日。

そこで初めて、みんなで合わせての演奏とダンスの練習をすることができました。

いろいろと不安がありましたが、当日の朝は全員で「大成功しました！　ありがとうございました！」と、予祝を行いました。元気よく声をかけながら迎えた本番は、おかげさまで過去一番の出来となりました。

阿蘇の青空にも負けない、明るく楽しい演奏とダンスに、会場も大盛り上がりでした！

37名のリン奏者による素晴らしいステージが実現

「水まつり」ということで、今回は水をテーマにした曲に合わせて、シンギング・リンの演奏とダンスを創作しました。

1曲目は映画『アナと雪の女王』の主題歌「Let It Go ～ありのままで～」で、氷と雪の世

「世界水まつり」発起人である江本博正さんと和真音。

シンギング・リン協会のブースでは多くの方にリンの音色を体験していただきました。

阿蘇の青空の下、野外ステージから世界に向けて
シンギング・リンの音色を響かせました。

演奏の様子はオンラインでライブ配信され、多くの人たちとつながることができました。

界を表現しました。

2曲目は『ソーラン節』でダイナミックな海を表現。3曲目は『フラガール～虹を～』で、雨上がりの虹と調和を表しました。

その後、「水への祈り」のセレモニーでもシンギング・リンの回転音を奏でさせていただきました。

フィナーレでは、歌手のミネハハさんによる『ありがとう地球』を出演者の皆さんとともに合唱しながらリンも奏で、感動のフィナーレとなりました。

そして翌日は、弊立神宮、天岩戸神社西本宮で奉納演奏もさせていただき、熊本、宮崎をおおいに楽しむことができました。シンギング・リンでつながった仲間の絆は、この3日間の旅でさらに強くなったように感じます。

全国からお集まりくださった皆さん、「世界水まつり」に心を寄せてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

1万5000年の歴史を持ち、国始めの高天原神話発祥の地ともいわれる弊立神宮へ。

天照大神が籠られた天岩戸を祀る天岩戸神社西本宮でも奉納演奏をさせていただきました。

世界水まつり

あらゆる人種、宗教、国境を超えた存在である「水」を世界中の人たちと一緒に感じ合い、「いのち」の大切さを分かち合うことをメインテーマとするイベント。第2回目となる今回の来場者数約2000人、オンラインでは約8000人が視聴！

世界水まつりHP

当日の
アーカイブ